

読売新聞 きょう（9月24日）のイチ押し

1面、経済面など 西九州新幹線 開業

佐賀県と長崎県を結ぶ西九州新幹線（武雄温泉—長崎間）が23日、開業しました。JR長崎駅では一番列車の出発前に記念式典が行われました。

- ★ 運転本数は1日上下47本で、全5駅、全長66キロを最短23分で結びます。博多—長崎間は、武雄温泉駅と同じホームで在来線特急「リレーかもめ」と新幹線を乗り継いで最短約1時間20分と、所要時間は従来よりも約30分短くなります。
- ★ 今後は、未着工のままとなっている佐賀県内の区間を早期に結び、博多駅や本州方面と直通できるかが焦点となります。

社会面 大都市考 第3部 苦境の京都①

大都市のあり方を考える、シリーズ連載「大都市考」の第3部が、社会面でスタートしました。今回は、深刻な財政危機に直面している京都市をとり上げ、危機に陥った背景や財政再建に向けた道筋を探ります。

社会面 マスコット販売便宜疑い 元理事に800万円提言か

東京五輪・パラリンピックを巡る汚職事件で、大会組織委員会元理事の高橋治之容疑者が、ぬいぐるみ製造・販売会社「サン・アロー」が大会マスコットのぬいぐるみを販売できるよう組織委側に働きかけた疑いがあることが判明しました。

- ★ 関係者によると、サン・アローからは、高橋容疑者の知人の会社を通じて複数回にわたり、現金800万円が高橋容疑者に提供された可能性があるといいます。

他紙と比べて

ロシアによるウクライナ侵略の開始から、24日で7か月となります。8ページの特集面では、南・東部で反転攻勢を強めるウクライナ軍の動き、ウクライナのゼレンスキー大統領とプーチン露大統領の発言の変遷など、戦況を詳細にまとめています。